

2013年3月1日

各 位

北京大学の医学生支援を目的とした 北京大学中外医学基金の新設および寄付について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、社会貢献活動の一環として北京大学の医学生支援を目的に2013年より3年間、北京大学教育基金会〔中国北京市／代表 北京大学常務副校長：柯楊先生〕に新たに設置される北京大学中外医学基金へ寄付を行うことといたしましたのでお知らせします。

北京大学教育基金会は北京大学内に設置されており、北京大学に通学する国内外の学生に対する教育支援事業を中心に行っています。一方、中外製薬からの寄付を受け入れるために新設された北京大学中外医学基金では、北京大学の医学生のみを対象とした教育支援を行います。

中外製薬は、本基金への寄付により北京大学の医学生支援に貢献できることを期待するとともに、社会貢献活動の一環として次世代の教育に積極的に取り組んでいく所存です。

寄付の概要

1. 寄付金額：70 万元／年
2. 期間：2013 年より 3 年間
3. 北京大学中外医学基金の主な用途：
 - ① 医学生に対する助学金
優秀な医学生が経済的な理由で勉学が継続できなくなることを救済する資金を支給
 - ② 医学生に対する奨学金
医学生から、成績、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、社会貢献活動、ボランティア実績、研究成果等を評価して選抜し、奨学金を支給

以上

<参考資料>

中外製薬は、良き企業市民としての役割と責任を自覚し、地域や社会との連携を保ちながら、特に「医療」「福祉」「教育」「地域社会」「環境」を重点分野とした社会貢献活動を通して地域および社会の発展に寄与し、社会とともに成長していく企業を目指しています。当社の基本方針や取り組みを当社ホームページ (<http://www.chugai-pharm.co.jp/>) で公開しております。

～中外製薬の「教育」への取り組み事例～

○早稲田大学寄附講座

社会的課題の一つである医療問題（特にがん）を考えることを通じて、学生自身が本来身近である医療に対し主体的に向き合い、また、自分自身のキャリアを考える機会を提供する講座を 2011 年から設置しています。

○慶應義塾大学寄附講座

医療政策や保健衛生などのさまざまな視点から地域・グローバルの両面で「健康」をキーワードに講義を行い、学生が「健康」という社会課題解決に向けて主体的に取り組むことを目的とした講座を 2012 年から設置しています。

○日本科学未来館のオフィシャルパートナー

館内の展示制作から館外に出向いて行うアウトリーチ活動にいたるまで、科学技術と社会とのコミュニケーションの活性化をめざす日本科学未来館（東京都江東区）の取り組みを、オフィシャルパートナーとして 2011 年より支援しています。

○「青少年のための科学の祭典全国大会」への協賛

科学に触れて体験することで得られる、科学の面白さやときめき感を提供することを目的に、当社が「北の丸博士のバイオのくすり研究室」を常設展示している科学技術館（東京都千代田区）で開催される「青少年のための科学の祭典全国大会」に 2008 年から協賛しています。

○夏休みこどもバイオ実験教室

子どもたちに理科や科学の楽しさを伝えることを目的に 2008 年から「夏休みこどもバイオ実験教室」を開催しています。

○中外エコキッズ・プログラム

中外製薬グループの従業員の子どもの対象に、環境教育プログラム「中外エコキッズ・プログラム」を 2007 年から開催しています。

○教員の民間企業研修

先生方が企業活動への理解を深めるとともに、その体験を授業や学校運営に活かすことを目的に、当社での受け入れ研修を 2004 年から実施しています。